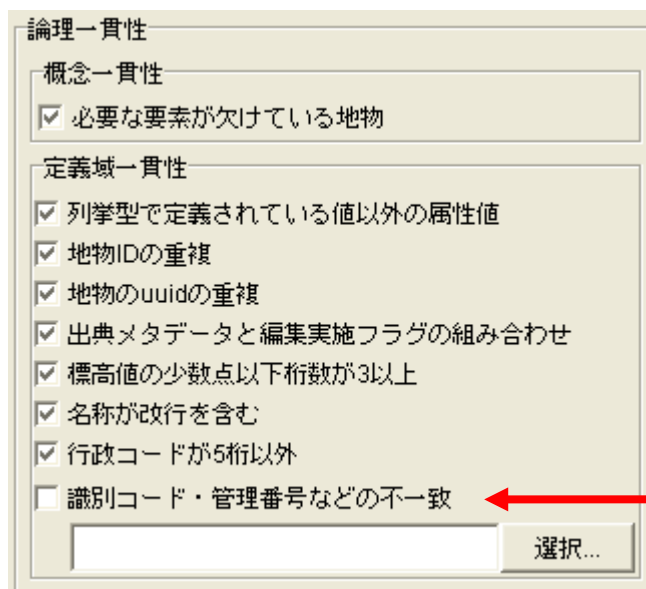


## 1. 基盤地図情報XML検査

メニュー[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]に以下の検査を追加しました。



### 【識別コード・管理番号などの不一致】

OID 識別コード・OID 管理連番・整備作業番号・測量成果等メタデータ ID(出典メタデータ)の組を CSV ファイルで指定して、指定した値以外があれば検出します。

CSV ファイルは 1 行目はヘッダです。2 行目からそれぞれの項目です。成果が複数ある場合、3 行目から追加しておきます。サンプルの CSV ファイル(識別コード・管理連番・整備作業番号・測量成果等メタデータ ID.csv)はインストールフォルダにあります。

	A	B	C	D
1	OID識別コード	OID管理連番	整備作業番号	測量成果等メタデータID(出典メタデータ)
2	10-00200	7-123	H1610127_S01	8-192

以下のチェックを行います。

- ① 地物の属性「uuid」と要素「地物 ID」「整備作業番号」「出典メタデータ」があるか？、空白ではないか？
- ② 「uuid」と「地物 ID」が同じか？
- ③ 「地物 ID」の文字列に 4 個のハイフンが含まれていて、識別コードと管理連番を分離できるか？
- ④ 「地物 ID」から得た識別コードと管理連番、「整備作業番号」「出典メタデータ」それぞれについて CSV にあるか？
- ⑤ 「地物 ID」から得た識別コードと管理連番、「整備作業番号」「出典メタデータ」の組が CSV の行にあるか？

## 2. 基盤地図情報XML作成

メニュー[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 作成][XML ファイルへ変換][XML ファイルへ変換 2]のダイアログで GI

要素の属性について第 3.0 版か第 2.0 版あるいは任意を指定できるようにしました。

共通項目(GI要素の属性)

製品仕様書第2.0あるいは3.0版  任意

xsi:schemaLocation http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD\_CDB\_Schema3.0 FGD\_CDB\_Schema3.0.xsd

xmlns:jps http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.1\_2009-05

xmlns http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD\_CDB\_Schema3.0

version 1.0

timeStamp 2008-10-10T20:08:10

### 【共通項目(GI 要素の属性)】

基盤地図情報 XML ファイルの「GI」要素の属性の内容を指定します。「製品仕様書第 2.0 あるいは 3.0 版」では以下の文字列をセットします。

第 3.0 版

属性名	属性値の文字列
xsi:schemaLocation	http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema3.0 FGD_CDB_Schema3.0.xsd
xmlns:jps	http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.1_2009-05
xmlns	http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema3.0
version	1.0
timeStamp	2010-03-26T12:00:00

第 2.0 版

属性名	属性値の文字列
xsi:schemaLocation	http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema2.0 FGD_CDB_Schema2.0.xsd
xmlns:jps	http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-03
xmlns	http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema2.0
version	1.0
timeStamp	2008-10-10T20:08:10

「任意」では「GI」要素の属性の文字列が指定できます。仕様変更された場合に対応するための項目です。現在のデフォルト値は第 3.0 版を設定しています(バージョン 1.11 までとは異なります)。ダイアログの設定をデフォルトに戻すには、インストールフォルダの「ini」フォルダの「基盤地図情報 XML 作成.ini」を削除して、基盤地図情報作成検査ツールを起動してください。

### 3. XMLファイルへ変換、XMLファイルへ変換 2

メニュー[基盤地図情報]-[XML ファイルへ変換][XML ファイルへ変換に所属三次メッシュを自動計算するオプションを追加しました。

<b>製品仕様書</b> <input checked="" type="radio"/> 第2.0版 <input type="radio"/> 第3.0版		<b>G要素の属性</b> <input checked="" type="radio"/> 製品仕様書第2.0あるいは3.... <input type="radio"/> 任意	
シェープファイル 入力フォルダ <input type="text"/> <input type="button" value="選択..."/>		xsi:schemaLocation DB_Schema3.0 FGD_CDB_Schema3.0.xsd xmlns:jpgs www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.1_2009-05 xmlns http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema3.0	
<input checked="" type="checkbox"/> シェープファイルの座標は平面直角座標系 平面直角座標系 系番号 <input type="text"/>		version 1.0 timeStamp 2010-03-26T12:00:00	
基盤地図情報JPGIS-XML 出力フォルダ <input type="text"/> <input type="button" value="選択..."/>		exchangeMetaData 編集作業番号 c-H00 exchangeMetadatalに記録(例Haabcccc-H00) 基盤地図情報メタデータID 56 exchangeMetadatalに記録(例8-456) 作成日 2008-07-11 exchangeMetadatalに記録(例2008-07-11)	
市区町村名 <input type="text"/> XMLファイル名の先頭文字列(例〇〇市)			
XMLファイルのサイズ <input type="text"/> 299 x1000x1000バイトを超えたら分割する			
<input type="checkbox"/> 要素(proxy)を出力する <input type="checkbox"/> [所属三次メッシュ]は自動計算			
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="設定を保存"/> <input type="button" value="設定を開く"/>			

### [所属三次メッシュ]は自動計算

要素「所属三次メッシュ」の値を、メニュー[基盤地図情報 XML]と同じ方法で計算しセットします。OFFの場合、シェープファイルの値を参照します。